本文33行

17 4 16

2

春の死

内山登美子

川沿いの土堤に桜の並木があって
けむるように花が咲いて
けむるように昏れていった
びしょびしょに濡れた満月
花の雨が降っている
風景はそれで完結するのだろう
でも□待って下さい
人はどうしたらよいのか
春□四月
水郷の地に□一人の詩人がみまかった
三月もいやな月だった
花はまだ枝先にかくれていたが
あれは□目に見えないだけだったのか
選択の自由もなく